

公益財団法人世界緑茶協会
令和7年度事業報告

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる日本・世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案するとともに、緑茶に関する情報を集積して日本茶、静岡茶を世界に向けて情報発信した。

世界お茶まつり 2025 では日本、アジア、及び欧米で活躍する茶業界代表者を招き緑茶に関する国際会議等を開催し、様々な視点から「世界の緑茶市場拡大とブランディング」について議論した。

国の農林水産物輸出拡大実行戦略に沿って、農林水産省、県、市町、関係団体と連携して海外での日本茶の普及と輸出の促進を図った。

また、茶業界の枠を超えた多様なメンバーからなる「Cha0I フォーラム」において、オープンイノベーションの手法による新たな茶の需要創出と生産構造の転換を支援した。

1 茶文化に関する講座及び体験事業（公益目的事業1）

(1) 茶文化セミナー等の開催

茶に関する歴史、文化、効能など様々な情報発信を行うとともに、茶を楽しむ機会の創出を図った。

名称	時期・場所	内容	人数
お茶で旅する静岡めぐり	令和7年7月5日（土） 午後2時40分～3時30分 清水テルサ7階小会議室1（静岡市清水区）	協会から世界や静岡のお茶生産、種類を紹介し、日本茶シニア・インストラクターから急須でのお茶の淹れ方（2人一組で実施）や冷茶作りについて体験しながら実践的に学んだ。	19人
空と茶の物語スペシャルトークショー	令和7年9月27日（土） 午後1時30分～2時15分 富士山静岡空港センタードーム	特別ゲストとともに（公財）世界緑茶協会の日本茶シニア・インストラクターがステージへ登壇し、呈茶しながら静岡県のお茶について紹介、解説を行った。	50人

(2) 情報誌「緑茶通信」等の発行

茶に関する幅広い情報を発信するため、専門情報誌「緑茶通信」を発行した。

発行時期	内容	発行部数
令和7年9月 57号	【特集】 Cha0I プロジェクト オープンイノベーションにより静岡茶の新たな価値を創造 ○Cha0I プロジェクト5年間の軌跡 藤井拓（静岡県経済産業部農業局お茶振興課） ○生産振興分野の取り組みと成果 梶山淑弘（Cha0I コーディネーター） ○新商品開発分野の取り組みと成果	1,000部

	<p>九島祥弘(ChaOI コーディネーター) ○販路開拓分野の取り組みと成果 福島寛孝(ChaOI コーディネーター) 【特別寄稿】台湾烏龍茶と日本の 140 年-史料調査をもとに- 権島彩波 【お茶への想いを語る】根角厚司、Danittha Lim 【連載記事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界お茶事情：オランダ 新たな茶文化が育つ風土 ・茶業研究最前線：静岡県農林技術研究所茶業研究センター のこれまでとこれから ・茶関連施設紹介：出雲文化伝承館 ・全国の茶産地から：高千穂「釜炒り茶」 ・ふじのくに茶の都ミュージアム便り ・世界緑茶コンテスト入賞者紹介⑤ ・お茶トピック、世界緑茶協会レポート ほか 	
<p>令和8年3月 58号</p>	<p>【特集】世界緑茶会議 2025 ○講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の緑茶生産及び市場の変化と日本茶 中村順行（静岡県立大学茶学総合研究センター長） ・文化と共に日本茶を世界へ 岩本 涼（株式会社 TeaRoom 代表・茶道裏千家準教授） ・ブランディング GTI、ブランディングティー キャサリン・バーネット（カリフォルニア大学デービス校 教授、Global Tea Institute 創設者兼ディレクター） ・伝統からトレンドへ、英国の茶市場を知る シャロン・ホール （英国ティー・インフュージョン協会最高経営責任者） ・中国茶産業の現状とブランディング及び輸出 ワン・シャオチュン（安徽農業大学教授・同大学茶樹遺伝資 源革新・資源利用国家重点研究所所長） <p>○パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の緑茶市場拡大とブランディング <p>【お茶への想いを語る】佐田康稔、戸倉由紀枝 【連載記事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶業研究最前線：滋賀県農業技術振興センター茶業指導所 ・茶関連施設紹介：KADODE OOIGAWA ・全国の茶産地から：川根本町 ・ふじのくに茶の都ミュージアム便り ・世界緑茶コンテスト入賞者紹介⑥ ・お茶トピック：世界お茶まつり開催報告 ・世界緑茶協会レポート ほか 	<p>1,000部</p>

(3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおかO-CHAプラザ」の静岡茶体験コーナーを運営するとともに、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施した（一部静岡県委託事業）。

ア しずおかO-CHAプラザの運営

場所・規模	静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 3階 65 m ² 15 席
開場時間	月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
内 容	静岡茶体験講座等の企画及び運営、世界緑茶コンテスト入賞茶や県内茶産地紹介などの企画展示、茶関連書籍などの資料収集

イ 静岡茶体験講座の企画運営

・本講座開催実績

講座テーマ	開催時期	参加人数
おいしいお茶の淹れ方講座	4月24日～5月21日 (5回)	111
待ちに待った季節の到来、静岡の新茶を味わおう	5月19日～6月11日 (9回)	128
暑い夏にぴったり♪冷茶の魅力	7月9日～8月1日 (9回)	125
お茶の多様性、世界のお茶を味わおう	11月27日～12月24日 (9回)	125
楽しく探求！オクシズのお茶の魅力	1月30日～2月25日 (9回)	125
合計	5テーマ・41回	614

・プチ講座開催実績

講座テーマ	開催時期	参加人数
待ちに待った季節の到来、静岡の新茶を味わおう	6月19日～6月23日 (4回)	14
暑い夏にぴったり♪冷茶の魅力	8月5日～8月8日 (4回)	15
お茶の多様性、世界のお茶を味わおう	12月26日～1月7日 (4回)	13
楽しく探求！オクシズのお茶の魅力	2月27日～3月3日 (4回)	13
合計	4テーマ・16回	55

・学校、企業等を対象とした講座開催実績

学校・企業等の名称	開催回数
<p><学校等> 静岡市立中島中学校 1 年生、静岡県立清水特別支援学校、静岡市立麻機北小学校、椛山女学園大学、静岡大学中国人留学生、静岡県立大学学生、ことば学院日本語学校、静岡県立沼津視覚特別支援学校中学部、静岡県立浜松視覚特別支援学校、放課後等デイサービスひなたのあかり</p> <p><企業・団体等> ジェトロ新入職員、ホテルアソシア職員、静岡県銀行協会(県内金融機関支店長ら)、静岡県議会事務局職員、関東農政局静岡県拠点職員、</p> <p><海外> 農研機構台湾研修生、タイ茶業関係者、ネブラスカ州オハマ市フレイトン大学学生、ドイツ在住日本人ら、静岡県日中友好協議会(浙江省より)、イギリス、香港、オランダ、中国 ほか</p>	36 回

2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

（1）日本茶輸出の促進

ア 国際的な見本市等への参加

国の農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に沿って、日本茶業中央会等と連携し国際的な食品見本市への参加や茶文化・学術情報の発信等の活動を通じて、輸出環境の整備を図るとともに日本茶・静岡茶の輸出拡大を支援した（日本茶業中央会委託事業）。

名称	開催日	開催場所
2026 Winter Fancy Faire	2026年1月11日(日)、12日(月)、13日(火)	サンディエゴコンベンションセンター（米国・サンディエゴ）

イ 日本茶輸出促進のための研修等

日本茶ビジネスを希望する海外の茶業者等に対し、県内茶業者と連携して茶生産現場等で静岡茶の魅力を学ぶ実務研修を実施した。

区分	受講者数：国	研修受入先
オンサイト研修	1人（アメリカ）	製茶業者1社（森町）

（2）世界への情報集積・発信

ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらへの関与を目的に、農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報を収集した。

区分	内容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO（国際標準化機構）TC34/SC8（食品部会/茶専門分科会）の議題に関する国内審議に参画すると共に、農水省が行う国内事務局業務の一部、国内審議の意見調整と ISO 事務局への投票業務を分担して実施した。 ・ ITC（国際茶委員会）及び FAO-IGG（国連食糧農業機関「茶に関する政府間会議」）における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報を収集した。
各国の茶関連団体との交流、情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶に関連する海外の団体（全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等）や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行った。 ・ 「Shaping The Future Together」をテーマに、タイで Global Coffee and Tea Association Forum 2025 が開催された。協会は主催者のメーファールアン大学から招待を受けて参加し、日本茶業の現状や協会活動を報告するとともに、各国の茶業情勢について情報収集した。 <p><海外特別会員の状況（令和8年3月）>18か国・地域、30者・団体：中国2、韓国2、台湾4、米国6、英国2、イタリア2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア、UAE、バーレーン 各1</p>

イ ウェブサイトやソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した情報発信
公式ホームページ「O-CHANET」やFacebook等のSNSを活用して情報発信を図った。

媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページ「O-CHANET」(日英) ・賛助会員向けメールマガジン：計12回発行 ・Facebook(多言語発信)：情報提供 60件 ・Instagram(多言語発信)：情報提供 60件
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本茶に関する基礎知識、専門知識 ・茶の機能・効能に関する研究成果情報 ・国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況 ・国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報 ・協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報

ウ ホームページバナー広告

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHANET」の充実と閲覧者の利便向上、茶の消費拡大を目的に、お茶及び関連商品販売事業者の広告を掲載した。

(3) 世界緑茶会議の開催

世界お茶まつり2025秋の祭典のプログラムとして、日本、アジア、及び欧米で活躍する茶業界代表者を招き、文化、若い世代へのアプローチ、健康・機能性、プレミアム化、教育、プロモーション等様々な視点から「世界の緑茶市場拡大とブランディング」について議論した。

開催期間	令和7年10月24日(金) 午前10時30分から午後5時00分
開催場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 11階 会議ホール「風」
講演者	日本、米国、英国、中国の茶業界代表者
参加者 (聴講者)	国内茶業者、輸出関連事業者、海外茶業者など150人
内容	<p>○講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村順行(静岡県立大学茶学総合研究センター長) ・岩本涼(株式会社TeaRoom代表・茶道裏千家準教授) ・キャサリン・バーネット(カリフォルニア大学デービス校教授・GTI創設ディレクター) ・シャロン・ホール(英国ティー・インフュージョン協会 最高経営責任者) ・ワン・シャオチュン(安徽農業大学教授、同大学茶樹遺伝資源革新・資源利用国家重点研究所長) <p>○パネルディスカッション</p> <p>中村氏を議長に4人の講演者が参加者を交えて「世界の緑茶市場拡大とブランディング」について議論した。</p>

(4) 世界緑茶コンテストの開催

ア 世界緑茶コンテスト 2025 の開催

市場性の高い魅力ある新商品を提案し、茶の新たな需要を創造して消費の拡大に繋げることを目的に開催した。

募集期間	令和7年4月1日～6月30日
審査会	令和7年8月21～22日 ふじのくに茶の都ミュージアム
出品点数	194点（うち海外168点）
審査結果	最高金賞20点、金賞42点、パッケージ大賞1点、フロンティア賞1点、エコプロダクツ賞1点
入賞茶の展示 ・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページ「O-CHANET」及び協会情報誌「緑茶通信」に掲載した。 ・しずおかO-CHAプラザで展示した。 ・世界お茶まつり2025にて展示するとともに、同会場で表彰式を開催した。

イ 海外品評会への出品支援

日本茶の国際的な評価を高めるため、中国で行われた国際名茶品評会への日本国内の出品取りまとめや、日本茶の審査専門家の推薦など、審査会の分担支援を行った。

募集期間	令和7年4月1日～6月5日（受付6月2～5日）
審査会	令和7年7月19～20日 中国青島
出品点数	369点（うち日本14点）
参加国・地域	中国、台湾、日本
日本茶の 審査結果	世界名茶大賞1点、金賞2点、銀賞5点
受賞紹介	公式サイト「O-CHANET」に掲載 ほか

(5) O-CHAパイオニア顕彰

茶に係る優れた学術研究や、茶の振興に寄与した産業技術、茶のある豊かな生活文化の提案等の優れた成果を顕彰するO-CHAパイオニア賞の選考委員会を開催し、8件の受賞者を決定した。令和8年7月29日に表彰式を実施予定。

募集期間	令和7年10月～12月15日
選考委員会	令和8年2月9日

<受賞者・団体>

部門	受賞者・団体	受賞タイトル
学術研究大賞	佐藤 安志（農研機構果樹茶業研究部門/茶業研究領域長）	病虫害防除体系の開発による日本茶輸出拡大への貢献

文化・芸術大賞	吉野 亜湖 (日本茶道塾/事務局長)	日本茶の海外広告戦略史と文化発信に関する研究
産業技術大賞	鹿児島県大隅加工技術研究センター (所長/迫田泰彦)	緑茶のみを原料としたフリーズドライ緑茶の製造技術の開発
0-CHA 特別大賞	ピーター F. ゴッジ (米国茶業協会/前会長)	世界の茶産業及び米国茶産業におけるリーダーシップ
CHALLENGE 賞	土と太陽の会 (代表者/杉田素之)	放棄茶園を活用した寒茶づくりによる地域活性化
CHALLENGE 賞	一般財団法人ロイヤルブルーティー・茶宴・愉茶振興会 (代表理事/佐藤節男)	新たな茶文化“茶宴・愉茶”の創出と茶宴コーディネーター制度の確立
CHALLENGE 賞	株式会社ショータイム (代表取締役/森川翔太)	Chabacco 自動販売機で買えるスティックタイプのお茶
CHALLENGE 賞	飯田 辰彦 (ノンフィクション作家)	著書を通じて日本茶の多様性と可能性を提唱し、各産地の人々同士の繋がりを構築

(5) ChaOI フォーラム運営支援

静岡茶の新たな価値創造を目指し、茶業界に限定されない広範な技術及びアイデアを活用した新たな需要創出を目的として、相談・助言並びにマッチング等の支援業務を行いました（静岡県委託事業）。

項目	概要
ChaOI フォーラム事務局窓口の運営	茶及び関連産業分野における専門家等を配置 (コーディネーター3名及び事務職員2名の5名体制)
会員の状況	茶生産者、茶商、メーカー、食品事業者等 904 会員 (令和8年3月31日現在)
コーディネーターによる相談・助言、マッチング等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等件数 延べ7,277件 (令和7年4月～令和8年3月) ・分科会等開催 3回 参加者数 244人 ・ChaOI プロジェクト推進事業の採択件数 24件

<分科会等の開催実績>

期 日	内 容	参加者
令和7年 4月8日	ChaOI-PARC 新施設開場記念交流セミナー 講師：茶研センター、中村順行氏、会員(生産者等) 会場：茶研センター	107人
令和7年 10月24日	ChaOI ビジネスフォーラム 茶関連スタートアップ企業のピッチイベントと会員相互交流 会場：グランシップ (世界お茶まつり会場)	40人

令和8年 2月15日	ChaOI フォーラム活動紹介「紅茶の香りと機能性について」 講師：お茶振興課、会員、農研機構、茶研センターなど 会場：島田市プラザおおるり	97人
---------------	--	-----

3 運営体制の充実を図るための取組

当法人はこれまで、理事会及び評議員会による意思決定のもと、県や関係団体と連携し、公益目的事業を安定的に実施してきた。

運営体制については、評議員に対して翌年度事業の事前説明を行い意見を聴取することや他の公益法人からの情報収集を行っており、さらなる充実を図っていく。

令和7年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項及び定款第12条に規定する事業報告附属明細書の作成にかかる事項はありません。

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,065,431	6,025,975	39,456
普通預金	6,065,431	6,025,975	39,456
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	3,455,580	4,018,237	-562,657
静岡銀行 駅南支店 普通763138	268,501	1,298,948	-1,030,447
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	2,341,350	708,790	1,632,560
未収金	1,660,317	2,545,479	-885,162
流動資産合計	7,725,748	8,571,454	-845,706
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	384,470,110	384,975,116	-505,006
投資有価証券(指定)	384,470,110	384,975,116	-505,006
定期預金(基)	8,529,890	8,024,884	505,006
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,300,000	3,300,000	-1,000,000
退職給付引当資産(一般)	2,300,000	3,300,000	-1,000,000
特定費用準備金資産		3,000,000	-3,000,000
特定資産合計	2,300,000	6,300,000	-4,000,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	395,300,000	399,300,000	-4,000,000
資産の部合計	403,025,748	407,871,454	-4,845,706
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,326,215	4,899,199	-572,984
前受金	450,000	206,400	243,600
預り金	312,534	321,901	-9,367
送料		360	-360
厚生年金預り	194,895	199,470	-4,575
健康保険料預り	117,639	122,071	-4,432
賞与引当金	1,030,000	1,120,000	-90,000
流動負債合計	6,118,749	6,547,500	-428,751
2 固定負債			
退職給付引当金	2,300,000	3,300,000	-1,000,000
固定負債合計	2,300,000	3,300,000	-1,000,000
負債の部合計	8,418,749	9,847,500	-1,428,751
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	
(うち基本財産への充当額)	(393,000,000)	(393,000,000)	()
2 一般正味財産	1,606,999	5,023,954	-3,416,955
正味財産の部合計	394,606,999	398,023,954	-3,416,955
負債及び正味財産合計	403,025,748	407,871,454	-4,845,706

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,847,880	6,842,247	5,633
特定資産運用益			
特定資産受取利息	4,871	1,537	3,334
受取会費			
会費収益	7,380,000	7,700,000	-320,000
事業収益			
受講料等収益	449,384	315,261	134,123
情報誌発行等収益	451,200	484,800	-33,600
出展負担金等収益	250	302,000	-301,750
世界緑茶コンテスト出品料	3,062,120	2,559,833	502,287
世界緑茶コンテスト出品料	2,777,120	2,559,833	217,287
国際名茶品評会出品料	285,000		285,000
受取補助金等			
補助金収益	5,429,000	5,429,000	
委託費収益	39,596,481	41,497,904	-1,901,423
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	
雑収益			
受取利息	46,908	10,366	36,542
雑収益	1	2	-1
経常収益合計	65,268,095	67,142,950	-1,874,855
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,242,000	4,242,000	
給料手当	27,202,397	29,896,417	-2,694,020
臨時雇賃金	1,954,875	2,218,084	-263,209
退職給付費用	192,500	385,000	-192,500
福利厚生費	6,378,941	6,443,326	-64,385
会議費	73,000	24,000	49,000
旅費交通費	4,809,905	3,531,442	1,278,463
通信運搬費	1,046,536	1,149,417	-102,881
消耗什器備品費	165,596		165,596
消耗品費	1,955,827	1,938,080	17,747
印刷製本費	564,385	150,992	413,393
賃借料	5,442,623	5,508,420	-65,797
保険料	66,220	81,392	-15,172
諸謝金	2,102,316	1,159,350	942,966
役務費	576,805		576,805
租税公課	2,007,400	2,081,400	-74,000
支払負担金	647,616	1,148,432	-500,816
委託費	4,022,944	1,526,800	2,496,144
広告宣伝費	42,808		42,808
手数料	497,531	1,002,224	-504,693
管理費			
役員報酬	750,000	750,000	
給料手当	866,000	855,000	11,000
退職給付費用	107,500	15,000	92,500
福利厚生費	1,306,003	1,295,490	10,513
会議費	3,200		3,200
旅費交通費	131,230	108,590	22,640

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	3,180	6,510	-3,330
消耗什器備品費	59,700		59,700
消耗品費	9,900	6,414	3,486
印刷製本費	6,600	6,600	
光熱水料費	155,448	126,448	29,000
賃借料	74,184	74,184	
諸謝金		24,000	-24,000
租税公課	1,000	2,650	-1,650
支払負担金	150,000	150,000	
委託費	937,200	937,200	
手数料	131,680	27,455	104,225
経常費用合計	68,685,050	66,872,317	1,812,733
評価損益等調整前当期経常増減額	-3,416,955	270,633	-3,687,588
評価損益等計			
当期経常増減額	-3,416,955	270,633	-3,687,588
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	-3,416,955	270,633	-3,687,588
当期一般正味財産増減額	-3,416,955	270,633	-3,687,588
一般正味財産期首残高	5,023,954	4,753,321	270,633
一般正味財産期末残高	1,606,999	5,023,954	-3,416,955
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	394,606,999	398,023,954	-3,416,955

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	3,423,940	3,423,940	3,423,940	0	6,847,880
基本財産の運用収入			3,423,940	3,423,940	3,423,940		6,847,880
特定資産受取利息					4,871		4,871
特定資産受取利息					4,871		4,871
受取会費	0	0	6,294,197	6,294,197	1,085,803	0	7,380,000
会費収入			6,294,197	6,294,197	1,085,803		7,380,000
事業収益	600,584	3,362,370		3,962,954	0	0	3,962,954
受講料等収入	449,384			449,384			449,384
情報誌発行等収入	151,200	300,000		451,200			451,200
出展負担金等収入		250		250			250
世界緑茶コンテスト出品料		3,062,120		3,062,120			3,062,120
受取補助金等	2,423,581	42,601,900	0	45,025,481	0	0	45,025,481
委託費収入	2,423,581	37,172,900		39,596,481			39,596,481
補助金収入		5,429,000		5,429,000			5,429,000
助成金収入				0			0
受取負担金				0			0
受取寄付金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000
茶取引安定協会特定寄附			2,000,000	2,000,000			2,000,000
雑収益	0	0	0	0	46,909	0	46,909
受取利息				0	46,908		46,908
雑収益	0			0	1		1
経常収益計	3,024,165	45,964,270	11,718,137	60,706,572	4,561,523	0	65,268,095

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
(2)経常費用							
事業費	9,545,785	54,446,440	0	63,992,225		0	63,992,225
役員報酬	1,272,600	2,969,400		4,242,000			4,242,000
給料手当	2,671,086	24,531,311		27,202,397			27,202,397
臨時雇賃金	1,904,198	50,677		1,954,875			1,954,875
退職給付費用	37,000	155,500		192,500			192,500
福利厚生費	1,121,407	5,257,534		6,378,941			6,378,941
旅費交通費	116,850	4,693,055		4,809,905			4,809,905
通信運搬費	346,322	700,214		1,046,536			1,046,536
減価償却費				0			0
消耗什器備品費		165,596		165,596			165,596
消耗品費	461,450	1,494,377		1,955,827			1,955,827
会議費		73,000		73,000			73,000
印刷製本費	42,133	522,252		564,385			564,385
光熱水料費				0			0
賃借料		5,442,623		5,442,623			5,442,623
保険料	29,820	36,400		66,220			66,220
諸謝金	109,225	1,993,091		2,102,316			2,102,316
役務費		576,805		576,805			576,805
租税公課	147,334	1,860,066		2,007,400			2,007,400
支払負担金		647,616		647,616			647,616
委託費	1,254,000	2,768,944		4,022,944			4,022,944
広告宣伝費		42,808		42,808			42,808
手数料	32,360	465,171		497,531			497,531
管理費					4,692,825	0	4,692,825
役員報酬					750,000		750,000
給料手当					866,000		866,000
退職給付金支出					107,500		107,500
福利厚生費					1,306,003		1,306,003
会議費					3,200		3,200
旅費交通費					131,230		131,230
通信運搬費					3,180		3,180
消耗什器備品費					59,700		59,700
消耗品費					9,900		9,900
減価償却費							0
印刷製本費					6,600		6,600
光熱水料費					155,448		155,448
賃借料					74,184		74,184
諸謝金							0
租税公課					1,000		1,000
支払負担金					150,000		150,000
委託費					937,200		937,200
手数料					131,680		131,680
雑費							0
経常費用計	9,545,785	54,446,440	0	63,992,225	4,692,825	0	68,685,050

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,521,620	△ 8,482,170	11,718,137	△ 3,285,653	△ 131,302	0	△ 3,416,955
基本財産評価損益等				0			0
特定資産評価損益等				0			0
投資有価証券評価損益等				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,521,620	△ 8,482,170	11,718,137	△ 3,285,653	△ 131,302	0	△ 3,416,955
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
中科目別記載				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
中科目別記載				0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
法人税、市民税及び事業税					0		0
他会計振替額			0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 6,521,620	△ 8,482,170	11,718,137	△ 3,285,653	△ 131,302	0	△ 3,416,955
一般正味財産期首残高	△ 80,049,139	△ 95,246,828	180,188,619	4,892,652	131,302	0	5,023,954
一般正味財産期末残高	△ 86,570,759	△ 103,728,998	191,906,756	1,606,999	0	0	1,606,999
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等				0			0
一般正味財産への振替額				0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			196,500,000	196,500,000	196,500,000		393,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	196,500,000	196,500,000	196,500,000	0	393,000,000
III 正味財産期末残高	△ 86,570,759	△ 103,728,998	388,406,756	198,106,999	196,500,000	0	394,606,999

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金				
定期預金	8,024,884	505,006		8,529,890
有価証券	384,975,116		505,006	384,470,110
小計	393,000,000	505,006	505,006	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,300,000	200,000	1,200,000	2,300,000
特定費用準備資金	3,000,000	1,000,000	4,000,000	0
小計	6,300,000	1,200,000	5,200,000	2,300,000
合計	399,300,000	1,705,006	5,705,006	395,300,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	8,529,890	(8,529,890)		
有価証券	384,470,110	(384,470,110)		
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	2,300,000			(2,300,000)
特定費用準備資金	0			(0)
小計	2,300,000			(2,300,000)
合計	395,300,000	(393,000,000)		(2,300,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

4. 担保に供している資産

なし

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額¹、時価⁵及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
11 30年国債	221,064,780	219,847,500	-1,217,280
111 20年国債	163,405,330	163,296,000	-109,330
合 計	384,470,110	383,143,500	-1,326,610

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	5,429,000	5,429,000	0	一般正味財産
合 計		0	5,429,000	5,429,000	0	

7. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の 名称	住所	資産総額	事業 の内容 または 職業	議決 権の 所有 割合	関係内容		取引の内 容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の兼 務等	事業 上の 関係				
支配 法人	静岡県	静岡市 葵区	—	地方 自治 体	—	理事 1名 監事 1名	業務 の受 入れ	補助金受入 受託金受入	5,429,000 33,673,481	補助金収入 委託費収入	0 0

附属明細書

1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,120,000	1,030,000	1,120,000		1,030,000
退職引当金	3,300,000	200,000	1,200,000		2,300,000

財 産 目 録

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			6,065,431
	普通預金			6,065,431
	スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142		運転資金として	3,455,580
	静岡銀行 駅南支店 普通763138		運転資金として	268,501
	ゆうちょ銀行 00860-3-166641		運転資金として	2,341,350
	未収金		補助金収入等	1,660,317
流動資産合計				7,725,748
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券			384,470,110
	投資有価証券(指定)		11 30年国債 221,064,780円	384,470,110
			111 20年国債 163,405,330円	
特定資産	定期預金(基)	スルガ銀行 静岡南支店 定期15561814		8,529,890
	退職給付引当資産	スルガ銀行 静岡南支店 普通2477718	職員の退職金の支払に備えたもの	2,300,000
その他固定資産	退職給付引当資産(一般)			2,300,000
固定資産合計				395,300,000
資産合計				403,025,748
(流動負債)				
	未払金		委託費等	4,326,215
	前受金		R8年度会費等	450,000
	預り金			312,534
	厚生年金預り			194,895
	健康保険料預り			117,639
	賞与引当金		職員の賞与の支払に備えたもの	1,030,000
流動負債合計				6,118,749
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員の退職金の支払に備えたもの	2,300,000
固定負債合計				2,300,000
負債合計				8,418,749
正味財産				394,606,999

振替口座残高証明書

口座番号	00860-3- 166641
------	-----------------

加入者名	公益財団法人 世界緑茶協会
------	---------------

令和 8年 3月31日現在の口座残高

*****2,341,350円

上記のとおり証明します。

令和 8年 4月 1日
ゆうちょ銀行 銀行之印

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

残高証明書

(残高証明日)

08年03月31日現在

お取扱店	お客様の口座番号	担当者
210	890427	00546

No.

毎度格別のお引立てを賜わり、誠にありがとうございます。
貴名義口座におけるお預り残高は、下記の通りであることを証明致します。

大和証券株式会社



お取扱店 静岡支店

(電話番号) (054)254-3151 (内線)

422-8067

静岡県静岡市駿河区

南町14-1

水の森ビル3階

(財)世界緑茶協会

会長 鈴木 康友 様

005536-210

6401A297-LK13-006297#A2103031

証券・金銭残高

種類	銘柄	数量	摘要
債券	11 30年国債	225,000 千円	(振込) 利払日06月20日 12月20日
	111 20年国債	160,000 千円	(振込) 利払日06月20日 12月20日

以下余白

●数量欄及び金額欄にマイナス(-)印のあるものは、当社でお立替しているものを表わしております。


●外貨建外国債券は、発行通貨単位で表示しております。


●当残高証明書は、残高証明日現在で22渡しの到来している残高について記載しております。

監 査 報 告 書

公益財団法人世界緑茶協会
会長 鈴木 康友 殿

令和8年 5月 21日

公益財団法人世界緑茶協会
監 事 浅井 弘喜 

公益財団法人世界緑茶協会
監 事 稲葉 光 

私たち監事は、当協会の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。